ト、石、砂利、砂等の骨材を選別ふん砕する骨材処理施設、或はコンクリート・バケットを運搬して打設地点に運ぶケーブル・クレーン等の諸機械も既に発註又は手当を終つており、今その据付現場の整地作業に大童である。

仮排水路トンネル延長三三六米、直径五米六〇は昨年末貫通し、切拡げ、コンクリート捲立工事も昨年十二月までに完了して、左岸のダム地点の少し上流に大きな口をポッカリと開けている。これは球磨川の流れを変えて、仮締切、堀鑿、ダムのコンクリート打設を行うためにつくられたものだ。

このようなダム建設の諸工事を行うため、西松建設の現場作業員が白、赤、黄青色と作業区分に従つて色わけされたヘルメット帽をかぶつて忙しく立働いている姿が印象的だ。

補償問題では、水没家屋が二二五戸あるが、すでにその大半は移転し、僅かに十三戸が残つているのみで、これも行先を探しているのが大部分という状況であり、水没する水上村の立村計画が残された大きな問題となつている。

一方、このような建設省のダム工事と併行して、県ではこれまで地元湯前に市房開発事務所を設けて、発電所の設計調査を進めてきたが、昨年十二月十日にはこれまで古田ダムの調査に当つていた球磨川開発事務所の主力を市房に移し、現在は陣容を四〇名に増強した。事務所と寮も新築を終り、宿舎十六棟もこの一月中には竣工することになつている。又、球磨川南部の利水事業も昨年中に五〇〇万円の経費をもつて調査測量を行い、実施設計を終了して実動態勢を固めたが、今年度を期し、建設省のダム工事とともに、発電所、かんがい事業の本格的工事に着工しようとしている。

◇……

◇……

将来

36年には大人造湖

発電所の完成は明後年

それでは、昭和三十三年度の事業計画を中心として、今後の計画についてその大要を述べてみよう。

まづダムについて述べると、前述のコンクリート打設のための諸施設の設置を七月までに終る一方、堰堤の下部工事は今年の二月までに仮締切を完了し、直ちに河床堀削を始め、八月から左岸（発電所側）のコンクリート打設を始めることになつている。

今年度の堀鑿量とコンクリート打設量は、それぞれ七万立方米が見込まれ、それぞれ全量の約1/3と1/5が予定されている。

これと併行して、発電所の工事は四月から本格的に始まる。

工事は発電所基礎、水圧鉄管の一部堤内埋没及び布設、調圧水槽、放水路、墜道等の工事がその主要なものであるが、本年度中にこれらの諸工事を合せて全工事の約四一％が進捗する計画である。

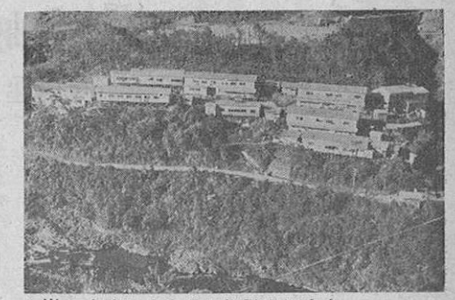
一方、水車発電機は既に昨年末、水圧鉄管（飯野重工業）とともに日立製作所に発註されているが、本年度中に約三〇％の製作工程を進める予定となつている。

第二発電所は今年の電源開発審議会にかゝる予定で、その決定とともに第一発電所同様着工し、今年度中に三三％工事を進める計画である。

なお、今年度の工事所要経費は、第一発電所五億三、八〇〇万円、第二発電所一億三、六〇〇万円計六億七、四〇〇万円となつており、総経費は約二〇億円となる。

市房ダムは昭和三十六年十二月完成の予定であるが、発電所の方は一足先の三十五年六月竣工を期しており、この頃になれば球磨川の上流に一大人造湖が出現するわけである。

一方、球磨南部の利水事業は、今年度は幸野溝と百太郎溝両水路の取水樋門及び取水口附近の隧道を改修し、次年度以降に幹線水路の改修と幸野溝の延長工事を行うが、第二市房ダム（調整池ダム）から第二発電所の分水点までの兼用水路はかんがい用水の要らない冬期に蓋渠工事を行い、三十三・四年の両冬期を利用して施工する計画である。



右岸の山腹に立ち並ぶ労務者用宿舎。
上端に付替道路がみえる。

一石三鳥の効果

このような市房及びこれを利用する発電所と球磨南部利水事業の完成は、球磨郡水上村において高さ七八米、長さ二七八米の堰堤を球磨川の水をせき止めて、広さ一・五一平方粁、貯水量四、〇〇〇万立方米の人造湖水をつくり、貯水池の操作によつて毎秒六五〇トンの水量を調整して洪水時の被害を少くするとともにその落差を利用する市房第一・第二発電所は合せて年間七、〇〇〇万キロワット時の電力を産み出し、本県産業の発展に大きな役割を果すわけである。

更に幸野溝と百太郎溝の改修・延長は三、五七八町歩の球磨南部の田畑をかんがいして、年間米換算二万石の増産をはかり、「いもど」特殊土壌の改良や、稲作早期、酪農の導入も可能となり、農業経営を豊かにするなど、その効果に大きな期待がかけられている。

新春にお贈りする

これこそ一石二鳥

牛乳の学校給食

牛乳は完全栄養の食糧として子供病人老人まですゝめられるもので、近年著しく一般に普及しつゝあることはご承知のとおりです。今度の措置で子供の栄養をまして体位向上に役立つばかりか、成人して後の食生活の改善にも基礎づけるものとしてその成果が期待されます。

今回の計画は一月から三月まで、休みを除いて約五十日間に一、五〇〇石を消化するもので、もよりの牛乳処理場から学校に配達します。価格は一合についてビン詰六円二十銭大ガンなら六円となつていますが、このうち四円は国庫から県を通じて補助されますから子どもは二～二円二十銭出すだけでよいのです。学校と処理場が事前によく話し合われて、酪農家も学童も助かる一石二鳥の役割を果すようにしたいものです。

（畜産課）

牛乳が安へなつて酪農は心配だ、というような声を聞きますが、こうした新しい事業がのびて行く時には、生産量と消費量がうまく一致しないことはありがちなことです。

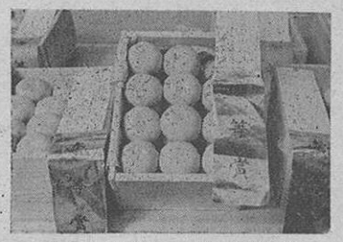
丁度汐の満干の時、波がおしたり引いたりしながらしまいには満潮になるようなもので、牛乳も一時的な値下りはあつても、しだいに調整されていくものです。

さし当り現在のあまつた乳を消化するために、県では学校給食にまわすことにしました。

みかんは九州一

園芸共進会で

第四回の九州山口各県連合園芸共進会は去る十二月十三日から四日間大分市で開かれました。本県からは総計二四五点を出品しましたが、うち六一点入賞という好成績を示し、新に温州みかんは優等一、一等三、二等三、三等一一、入賞率七割というすばらしさでした。



（写真は優等、一等のみかん）

なお一等以上の入賞者は次の通りです。

入賞成績

種別	果実	蔬菜
出品数	七〇	二八
入賞数	二七	三
種苗	花卉	加工品	計
二〇	一七	二〇	二四五
一	六	五	六一

温州優等	飽託・河内芳野	中川実
〃 一等	〃	中村樹
〃 〃	〃	広田辰男
〃 〃	宇土・三角	内田一男
ネーブル 〃	飽託・河内芳野	堀尾正明
いんげん 一等	本渡市・本渡	倉田カメヨ
白菜 〃	玉名・南関	猿渡正一
南瓜 〃	宇土・宇土	迫田静治

（農産課）

漁業取締に新威力

阿蘇丸代船の建造

今度、新らしい漁業取締船ができることになりました。この取締船は、県民の皆様におなじみの漁業取締船「阿蘇丸」（木造三〇トン、一二〇馬力、昭和二十四年十二月進水）が老朽化したので、その代船として建造されることになつたものです。船体は鋼製で七〇トン、四五〇馬力、駆逐艦型のスマートな新鋭船で、明年八月竣工の予定です。レーダーや方向探知機、無線通信設備などの近代装備をもち、密漁船の探索や追跡に一そう威力を発揮することになりましよう。本県には、阿蘇丸の外に、「はやて」（耐蝕アルミ合金製、四・四〇トン、九〇馬力）があり、阿蘇丸は、主として天草西方海面、「はやて」は、有明不知火海の浅海に出動して日夜取締に当つておりますが、最近、天草西方海面には、他県の中型底曳網漁船による密漁事件が頻発し、本県の沿岸漁民の上に暗い影を投じており、新鋭漁業取締船の完成によりこのような不法な密漁もしだいに跡を絶つて明るい漁場の秩序が確立されることでしよう。また、荒天時或は風水害などの場合の海難救助にも活躍が期待されます。

（水産課）

3つの明るい話題